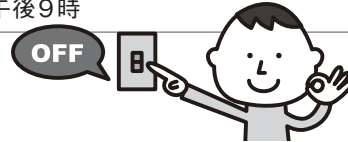


今冬の節電へのご協力のお願い

内容：数値目標を伴わない一般的な節電の要請
期間：1月6日(月)～3月31日(月)の平日
時間：午前9時～午後9時



この冬、関西電力管内では電力の安定供給に必要な予備率3%以上を確保できる見通しです。しかしながら、この見通しには、市民・事業者の皆さんの定着した節電行動の効果が織り込まれています。

このため、電力の安定供給には、一人ひとりが、これまで取り組んできた節電・省エネを、この冬も実施することが不可欠となりますので、無理のない範囲でご協力をお願いします。

なお、市役所では平成22年度比10%以上の節電を目標にしています。



◆環境課

☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

具体的な節電方法		節電効果（削減率）		チェック
		エアコン 使用家庭	ガス 石油ストーブ等 使用家庭	
エアコン 暖房の控え過ぎによる体調不良などに十分ご注意ください。	重ね着などをして、室温20℃を目安に設定する。 ※設定温度を2℃下げた場合	7 %	—	☐
	窓には厚手のカーテンを掛ける。	1 %	—	☐
照 明	不要な照明をできるだけ消す。	4 %	6 %	☐
テ レ ビ	画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2 %	3 %	☐
★冷 蔵 庫	冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまない。	1 %	2 %	☐
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、保温機能は使用せずに、よく冷ましてから、冷蔵庫に保存する。	1 %	2 %	☐
★温水洗浄便座（瞬間式）	便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉める。	1 % 未満	1 %	☐
★待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切る。 使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	1 %	2 %	☐

日中に在宅していない家庭においても★印の対策にご協力をお願いします

※節電効果の記載値は、夕方ピーク時の消費電力（通常、エアコンを使用する家庭）は約1400W、「通常」、ガス・石油ストーブ等を使用する家庭（約1000W）に対する削減率の目安です。

■「需給ひっ迫お知らせサービス」への登録を

万一、電力需給のひっ迫が予想される場合に、携帯電話・スマートフォンにお知らせします。ぜひ、登録をお願いします。

携 帯 電 話…右のQRコードまたは

<http://mail.setsuden.go.jp> にアクセス

スマートフォン…App Store または Google Play にアクセスし
“節電アクション”で検索



■ 節電・電力需給に関する情報は…

▽政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」

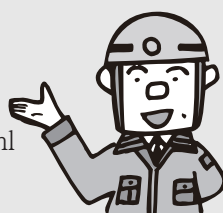
<http://www.setsuden.go.jp>

▽経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/setsuden/index.html>

▽関西電力ホームページ

<http://www.kepco.co.jp/>



毎月第4土曜は 廃食油回収の日

1月25日午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近
回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課☎ 587 - 6003、エコロジーマーケットやすの会・増村☎ 586 - 1441

【参考】経済産業省「冬季の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成25年11月）、関西電力HP

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

(112)

野洲の墨書土器

ぼくしよ

古代中国の漢字は、秦の始皇帝が紀元前3世紀に国内を平定する際に、統一したといわれます。度量衡とともに皇帝の命令が地方に届き、その内容を共通認識できるように文字の統一が図られました。

日本国内での文字の始まりは、出土した古墳時代の鉄剣や銅鏡の銘文によって、知ることが出来ます。国内では最古の古文書「正倉院文書」(8世紀初頭)があり、木札に文字を記した木簡は、7世紀中頃のものが最も古い事例です。遺跡から出土する墨書土器

は、その名前のとおり土器の表面に墨で文字や記号等を記したもので、人名や建物名、地名、職、身分と呪語、吉祥句等に分類できます。墨書文字は、主に須恵器や土師器の底部に一、二文字記されていることが多く、奈良時代から平安時代前期を盛期としています。

滋賀県内の4000か所を超える遺跡の中で、墨書土器が出土した遺跡数は162遺跡、墨書土器数1149点です(平成11年調べ)。野洲市内からは奈良・平安時代を中心に34遺跡から371点(平成24年調べ)を確認できます。県内の墨書土器は官衙遺跡、

寺院跡に多く見られ、一般集落跡からも出土します。市内北部の西河原遺跡群からは、古代の木簡95点と墨書土器約200点が出土しています。西河原遺跡群内の西河原森ノ内遺跡からは「神」が28点、この他「神主家」など神に他の文字を加えた墨書土器6点があります。

西河原遺跡群は、古代の役所もしくはその出先機関と考えられており、これに伴う祭祀や建物施設を墨書土器は示していると思われます。また、西河原遺跡群内の光相寺遺跡からは、「欄」6点と「石邊君」2点が出土しています。西河原森ノ内遺跡から出土した第1号木簡(8世紀前半)には、戸主名が連記されており、その中に「石邊君玉足」とあります。石邊



北桜遺跡出土の墨書土器「三上里」



北桜遺跡出土の墨書土器「春米」ほか

氏は、守山市吉身に鎮座する馬路石邊神社周辺を拠点として、西河原および吉地周辺にも居住していたと考えられます。市内南部では北桜遺跡から奈良時代後期から平安時代初期の墨書土器約100点が出土しています。郷里名を記した「三上里」「三上□」や、寺院との関連をうかがわせる「正像」「□(迫力)」「寺」「佛□」と、僧侶と思われる人名を記した「廣寛」3点があります。そのほか「稲主」「船(舩)人」「神吉」「井」「山」「川□(原力)」と「春米□(運カ)」「日□□物者□」などがあります。「春米」とは、脱穀したお米のことで正税の田租との関係も考えられます。

古代の文字資料の墨書土器から得られる情報は、断片的ですが繋ぎあわせていくことで、古代の生活を垣間見ることが出来るのではないかと思います。博物館では、1月5日(日)・2月2日(日)の間、テーマ展「墨書土器 ―器に記された文字―」を開催します。北桜遺跡から出土した墨書土器など野洲市内の各遺跡から出土した墨書土器のほか服部遺跡(守山市)、手原遺跡(栗東市)、大將軍遺跡(草津市)から出土した古代の墨書土器を展示していますので、一度ご覧ください。(博物館学芸員 徳網克己)

【休館日】月曜日(13日は開館)、1月1日(祝)4日(土)、14日(火) ※市民は入館無料

◆テーマ展「墨書土器―器に記された文字―」／1月5日(日)～2月2日(日)

◆ドウタクくんと凧作り&凧あげ／1月12日(日)午前10時～午後2時(雨天の場合は18日(土)) 定員…小学生30名／参加費…300円(材料代)／1月9日(木)までに電話にて事前申し込み

◆友の会歴史入門講座④／「明治期滋賀県の町村行政」1月25日(土)午後2時～4時 講師…高久嶺之介さん(京都橘大学)／資料代…300円／事前申し込み不要

◆第71回銅鐸研究会／「浜松市における新発見の銅鐸」(仮)2月1日(土)午後2時～4時 講師…鈴木京太郎さん(浜松市文化財課)／事前申し込み不要